

I 鳥取県の森林と林業の概況

鳥取県の林業の位置（全国対比）

項 目		単 位	全 国 (A)	鳥 取 県 (B)	比率(%) (B)/(A)×100	順 位	年 度	資 料 名	
林野面積 及び蓄積	土 地 面 積		1,000ha	37,797	351	0.9	41	令和3年	令和3年全国都道府県 市区町村別面積調（10月1日時点）
	林 野	面 積	1,000ha	24,770	259	1.0	33	令和2年	2020年農林業センサス結果 並びに森林・林業振興局調べ
		林 野 率	%	66	74	-	13	〃	
	森 林	総 面 積	1,000ha	24,435	257	1.1	33	〃	
		民 有 林 面 積	1,000ha	17,358	228	1.3	32	〃	
	民 有 人工林	面 積	1,000ha	7,903	125	1.6	-	全国値平成29年 県内値令和3年	林野庁計画課「森林資源の現況」 並びに森林・林業振興局調べ
		人 工 林 率	%	46	55	-	-	〃	
	民有林 蓄 積	総 畜 積	1000m ³	4,015,384	51,565	1.3	-	〃	
		1ha 当たり蓄積	m ³	164	200	121.9	-	〃	
	造 林	民 有 林 造 林 面 積		ha	19,560	196	1.0	-	令和2年
民 営 造 林 用 苗 木 生 産 量		1,000本	65,576	663	1.0	-	〃	林業種苗の概要(R4.3)	
林産物 の生産	素 材	需 要 量	1,000m ³	26,085	828	3.2	-	令和3年	令和3年木材需給報告書並びに 森林・林業振興局調べ
		国 産 材	1,000m ³	21,847	708	3.2	-	〃	
	しいたけ	生	t	71,058	278	0.39	37	令和3年	令和3年特用林産基礎資料
		乾	t	2,216	17	0.77	17	〃	

項 目		単 位	全 国 (A)	鳥 取 県 (B)	比率(%) (B)/(A)×100	順 位	年 度	資 料 名	
木 材	製 材	工 場 数 (7.5kw 以 上)	工 場	3,948	38	1.0	41	令和3年	令和3年木材需給報告書
		生 産 量	1,000m ³	9,035	24	0.3	—	〃	
	木 材 チップ	工 場 数	工 場	1,082	7	0.6	39	〃	
		生 産 量 (製 紙 用)	1,000t	6,070	21	0.3	—	〃	
民有林林道 (自動車道)	民 有 林 既 設 林 道 密 度		m/ha	5.4	4.8	—	—	令和2年	森林・林業統計要覧(2020) 並びに森林・林業振興局調べ
	民 有 林 林 道 開 設 実 績		km	179.5	4.3	2.4	27	令和2年	森林・林業統計要覧(2022)
林業機械	高 性 能 林 業 機 械 保 有 台 数		台	11,273	163	—	—	令和3年	令和3年度林業機械保有状況調査
林業経営 及び労働	林家数	総 数	戸	690,047	10,506	1.4	30	令和2年	2020年農林業センサス
		内 5ha 未 満 林 家	戸	511,744	7,945	1.4	30	〃	
森林組合	組 合 数		組 合	613	8	1.3	—	令和2年	森林・林業統計要覧(2022)
	1組合 当たり	組 合 員 数	人	2,426	2,323	—	—	〃	
		払 込 済 出 資 金	1,000円	88,444	110,578	—	—	〃	
	生 産 森 林 組 合 数		組 合	2,693	80	3.0	—	〃	
林業金融	公 庫 資 金 貸 付 決 定 実 績		100万円	27,609	267	1.0	—	〃	
	(独) 農林漁業信用基金 債務保証額		100万円	29,353	350	1.2	—	〃	
治 山 保安林	民 有 保 安 林 面 積		1,000ha	5,329	109	2.0	—	〃	
	民 有 林 治 山 事 業 の 実 績		100万円	74,467	702	0.9	—	〃	

項 目		単 位	全 国 (A)	鳥 取 県 (B)	比率(%) (B)/(A)×100	順 位	年 度	資 料 名
森林保護	林野火災	損害てん補面積	ha	17	-	-	令和3年度	令和3年度 森林保険に関する統計資料 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター
		損害てん補額	1,000円	31,519	-	-	〃	
	気象災	損害てん補面積	ha	490	-	-	〃	
		損害てん補額	1,000円	342,315	-	-	〃	
	松くい虫被害（民有林）		1,000m ³	268	4	1.5	16	令和2年

参考：鳥取県民有林、国有林別主要指標

項 目	単 位	計	民 有 林	国 有 林	年 度	資 料 名
林 野 面 積	1,000ha	260	228	32	令和3年	森林・林業振興局調べ
森 林 面 積 (a)	1,000ha	259	227	31	〃	
人 工 林 面 積	1,000ha	141	125	16	〃	
蓄 積 (b)	1,000m ³	69,602	63,610	5,992	〃	
1ha 当 たり 蓄 積 (b / a)	m ³	269	280	191	〃	
素 材 生 産 量	1,000m ³	288	278	10	令和3年	
林 道 延 長	km	1,395	1,193	202	令和2年	
保 安 林 面 積	1,000ha	137	107	30	令和3年	

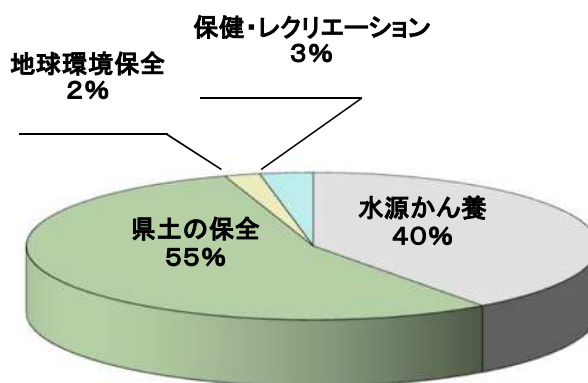
鳥取県の森林と林業の概要

1 概要

本県の森林は、県土の約74%に当たる259千haを占めている。これらの森林は木材等の生産だけでなく、県土の保全、水資源の涵養、地球温暖化防止等といった多様な機能を有し、県民の生活に重要な役割を果たしている。これら森林の公益的機能の価値は、貨幣評価可能なものだけでも、全国で70兆2,638億円、鳥取県では、8,227億円と評価されている。

鳥取県の森林評価額

機能の種類	評価額
水源かん養	降水の貯留 1,137億円
	洪水の防止 686億円
	水質の浄化 1,485億円
	計 3,308億円
県土の保全	表面侵食防止 3,689億円
	表面崩壊防止 866億円
	計 4,555億円
地球環境保全	二酸化炭素吸収 127億円
	化石燃料代替 11億円
	計 138億円
保健・レクリエーション	226億円
合計	8,227億円



(注) 日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について」(平成13年11月)を参考として鳥取県分を試算したものである。

一方、本県では、戦後の拡大造林期に植栽された人工林資源が利用可能な段階を迎えつつあるものの、路網整備の遅れや所有形態が小規模・分散化していることから生産性が低く、また、木材価格の低迷等による森林所有者の林業への関心の低下により、間伐等の十分な手入れが行き届かない森林が顕在化している。

このため、本県の林業・木材産業が成長産業として飛躍することを目指すとともに、これらの産業の再生を通じて森林の適切な整備・保全を促進することとし、①施業の集約化や路網・機械整備によるコストの削減と利用間伐により森林所有者に利益を還元する低コスト林業の推進、②森林づくりを支える担い手や低コスト林業推進の中核的存在となる林業事業体の育成・強化③直送による流通コストの削減や品質の確かな製品の供給等の推進、④とっとり共生の森や森林環境保全税、J-VER、全国植樹祭(平成25年開催)等を通じた森林づくりに対する県民意識の醸成に取り組むこととしている。

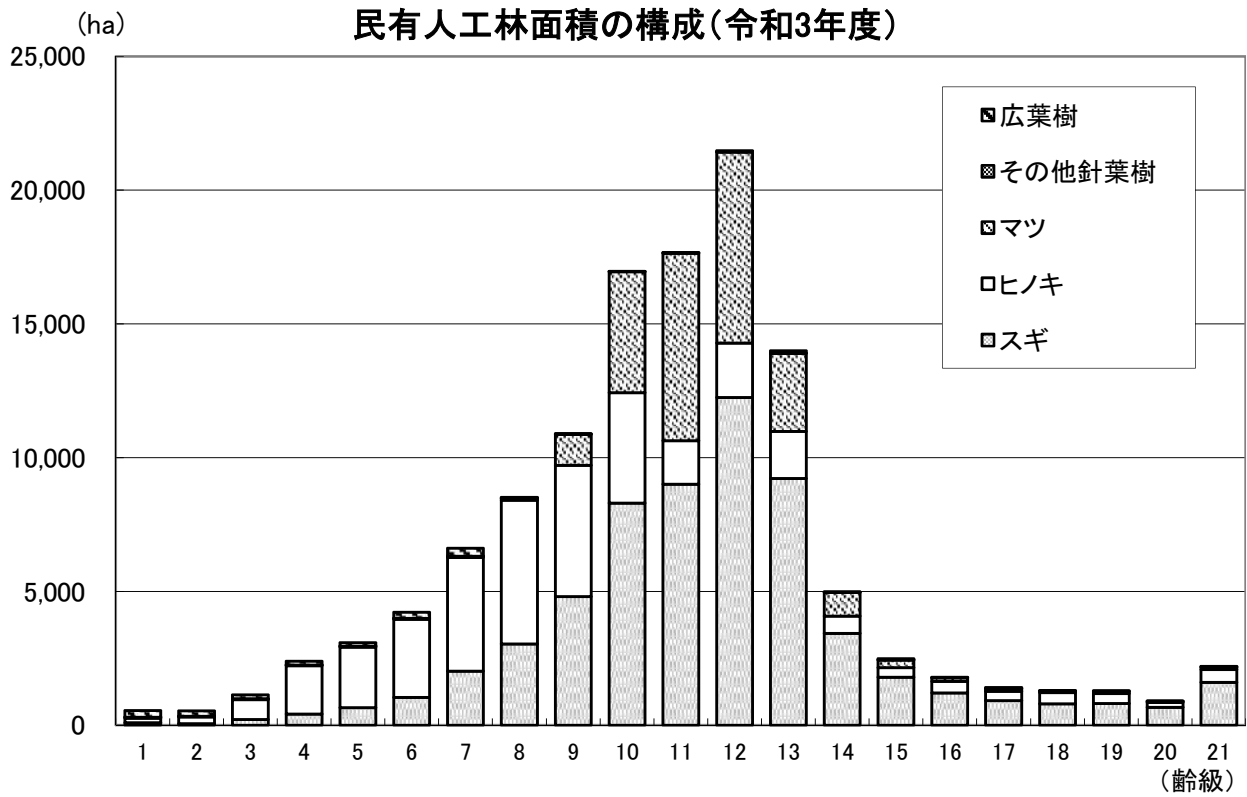
【参考】

総土地面積 (ha)	林野面積 (ha)	現況森林面積			林野率 (%)	民有林 人工林率 (%)	総人口 (千人)	総世帯数 (世帯)	林家数 (戸)	林家以外の 事業体数	
		国有林 (ha)	民有林 (ha)	計 (ha)						戸	森 林 組 合 数
350,714	258,432	29,833	227,522	257,355	73.7	54.6	553	219,742	10,506	843	8

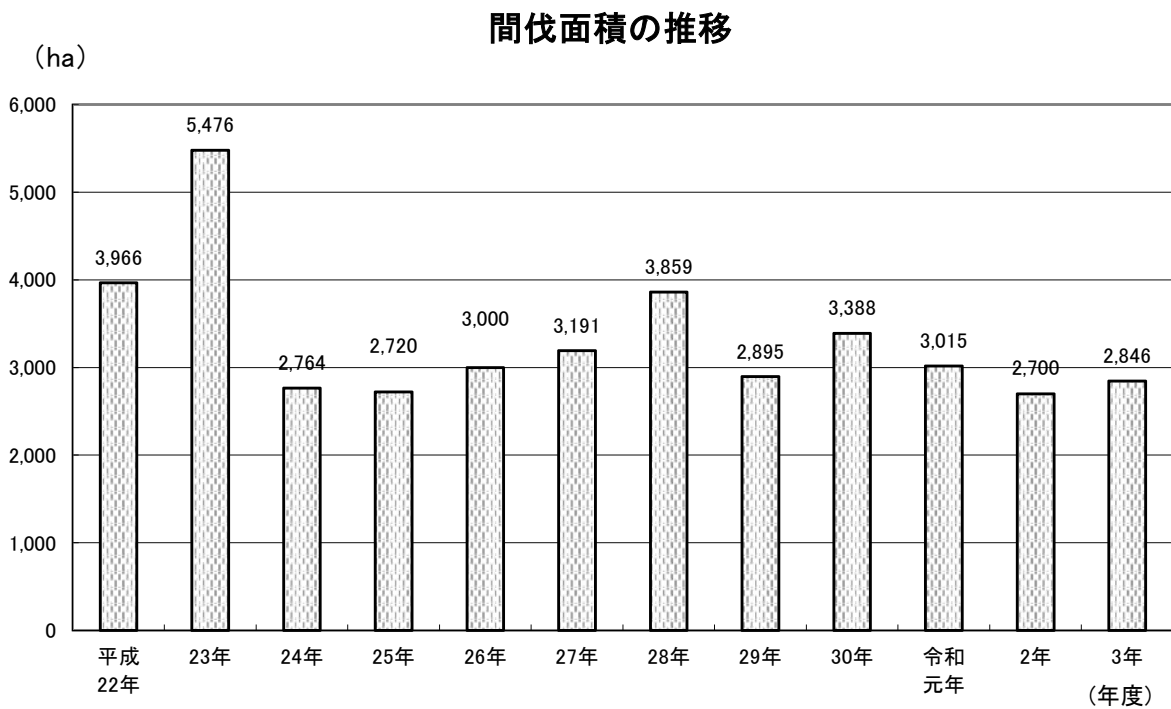
(注) 各数値は、2020農林業センサス及び令和2年国勢調査より取りまとめたものである。

2 造林

・県内の民有林は、約55%が人工林で、そのうち69%が12齢級以下の手入れが必要な森林である。

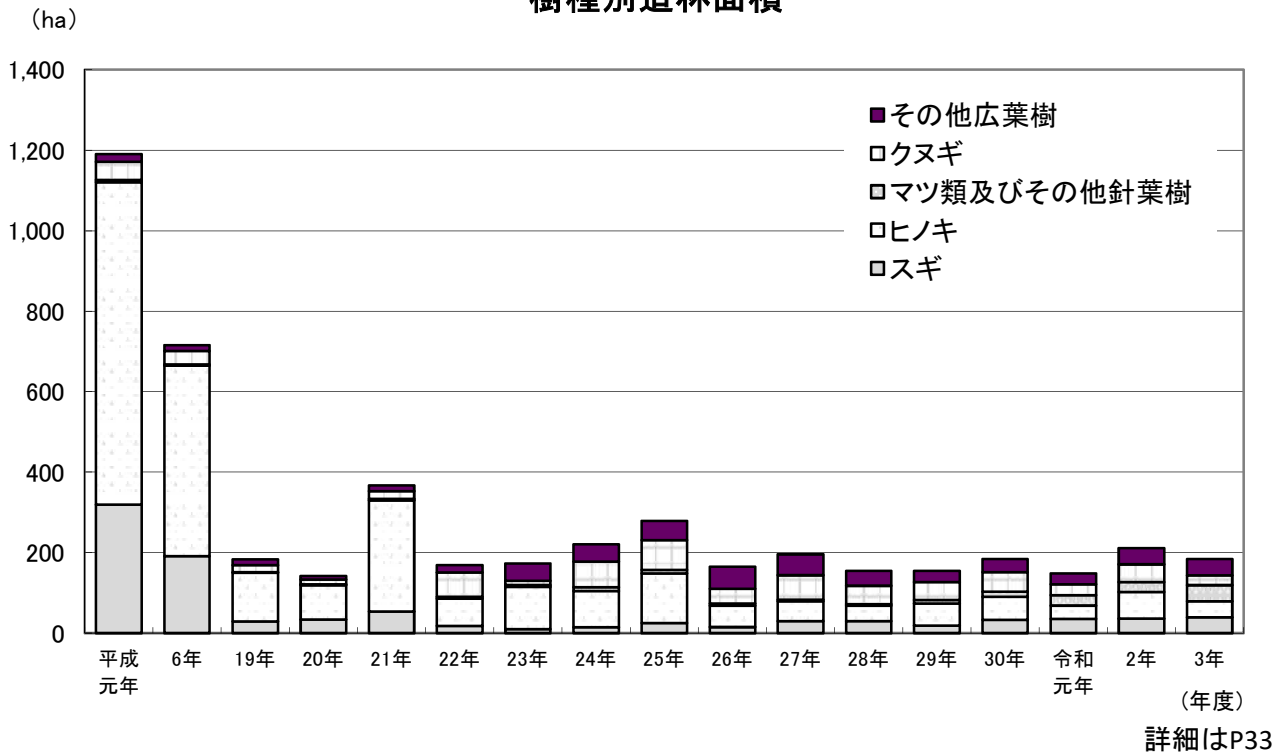


詳細はP11～25



詳細はP36

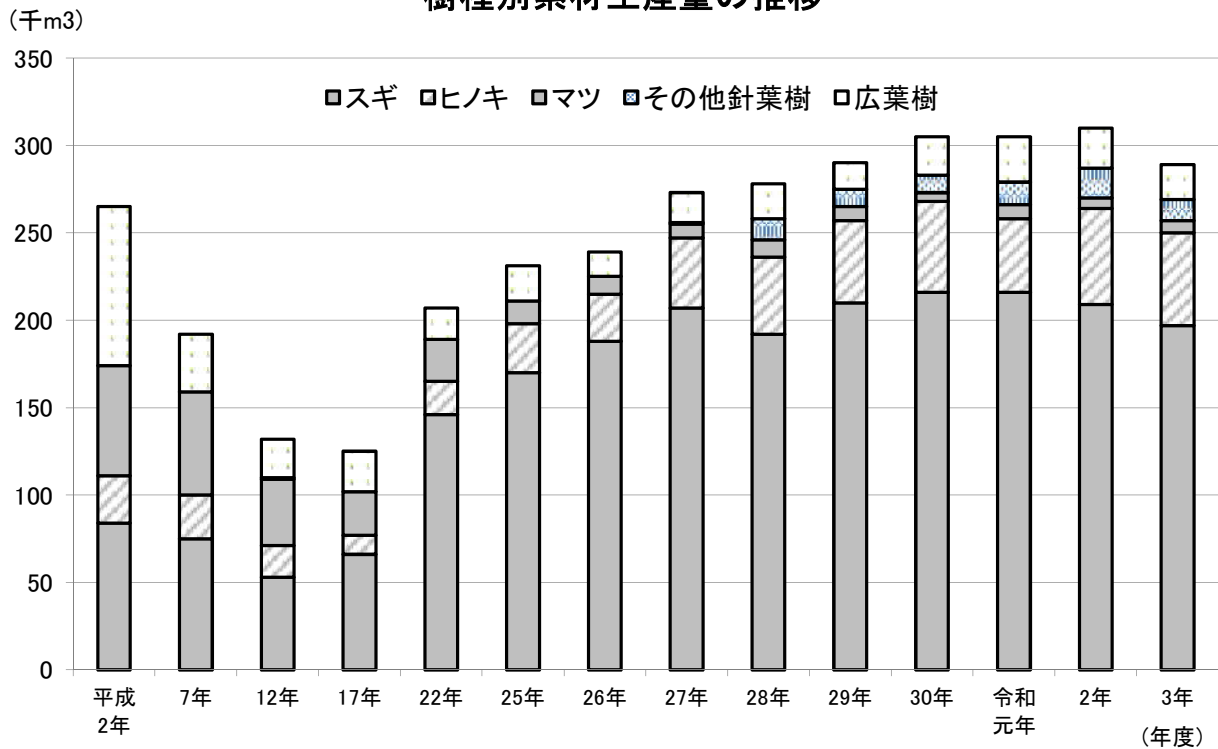
樹種別造林面積



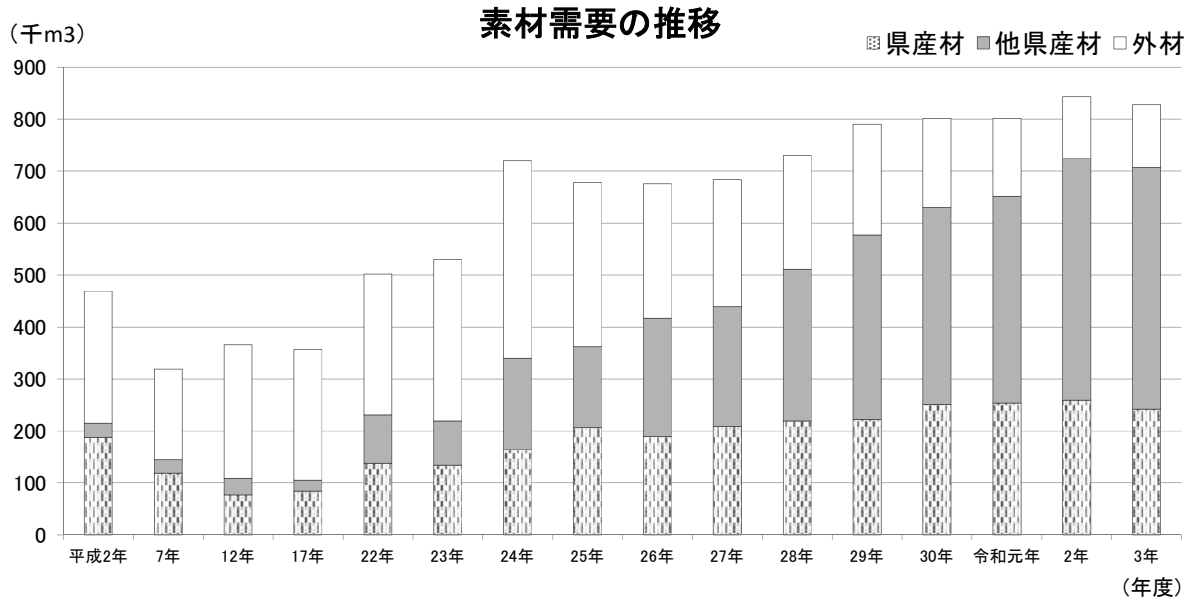
3 林産物（素材）

・素材生産量は、合板、LVL、木質バイオマス燃料用チップ等の需要増もあって近年では高い水準を維持している。

樹種別素材生産量の推移



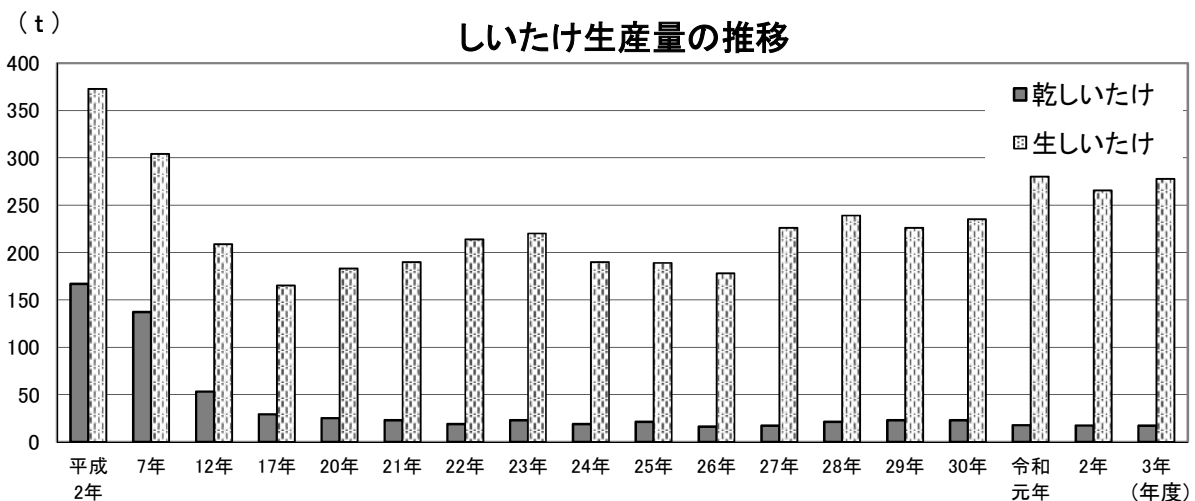
詳細はP44



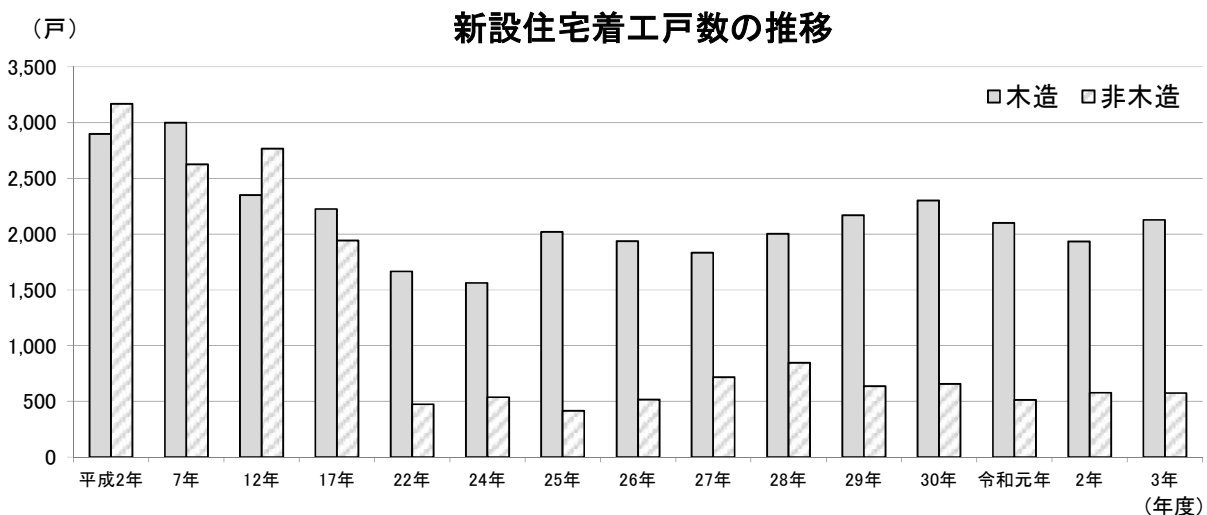
詳細はP45

(その他)

- ・ 令和3年のしいたけ生産量は、乾しいたけ17 t、生しいたけ278 tとなり、生しいたけが増加。
- ・ 令和3年の新設住宅着工戸数2,702戸のうち、79%が木造である。



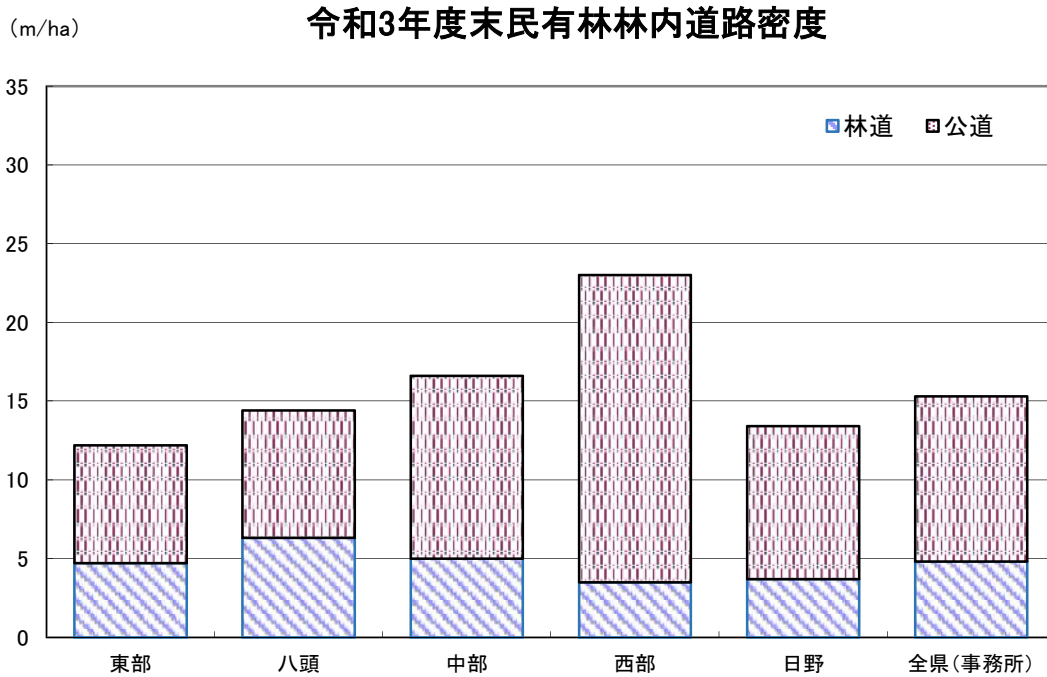
詳細はP53



詳細はP102

4 林道

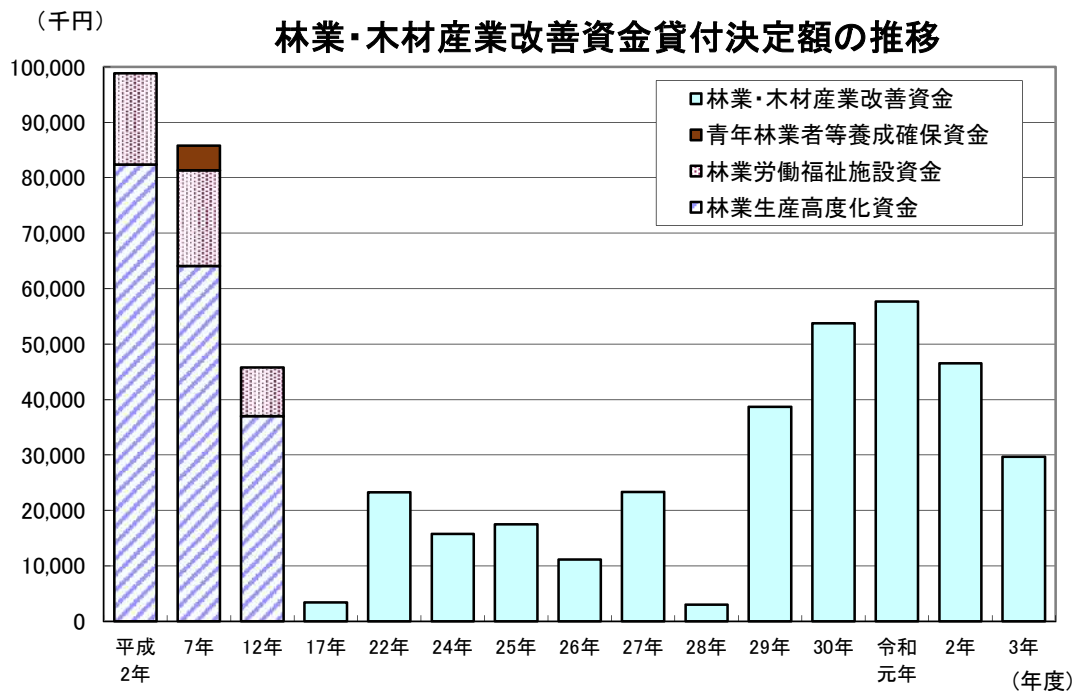
・ 民有林の林内道路密度は、全県で15.3m/ha、うち、林道密度は4.8m/haである。



詳細はP64

5 林業金融

・ 令和3年度の林業・木材産業改善資金の貸付実績は29,666千円である。

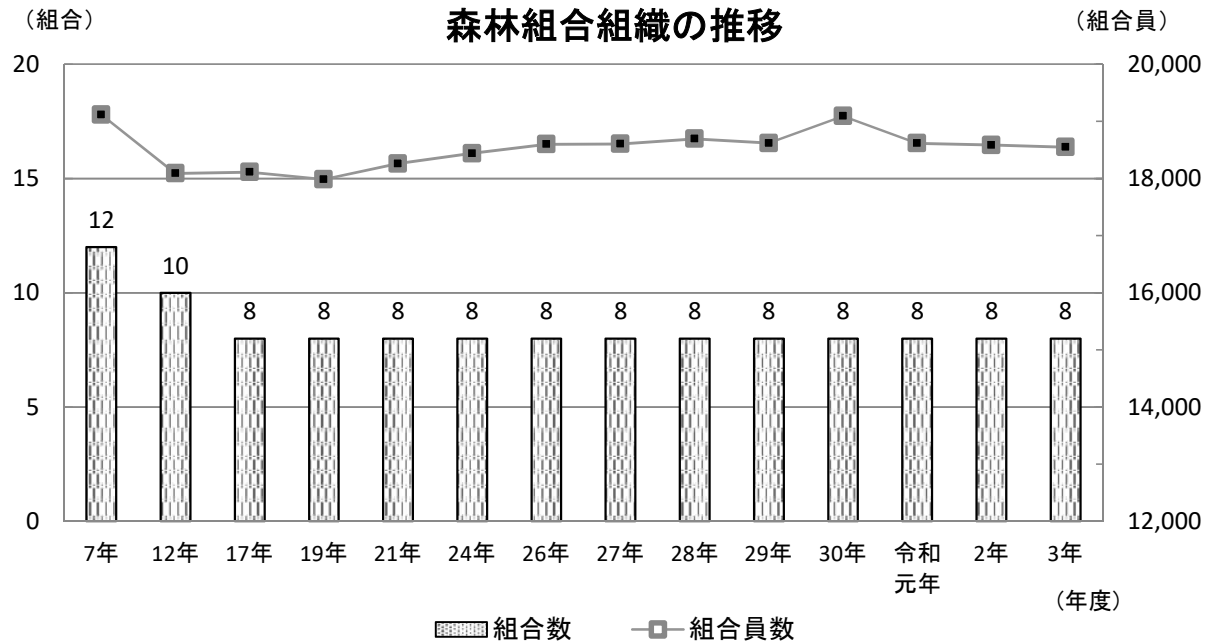


(注) 平成15年7月から、資金の種類が「林業・木材産業改善資金」に統一された。

詳細はP79

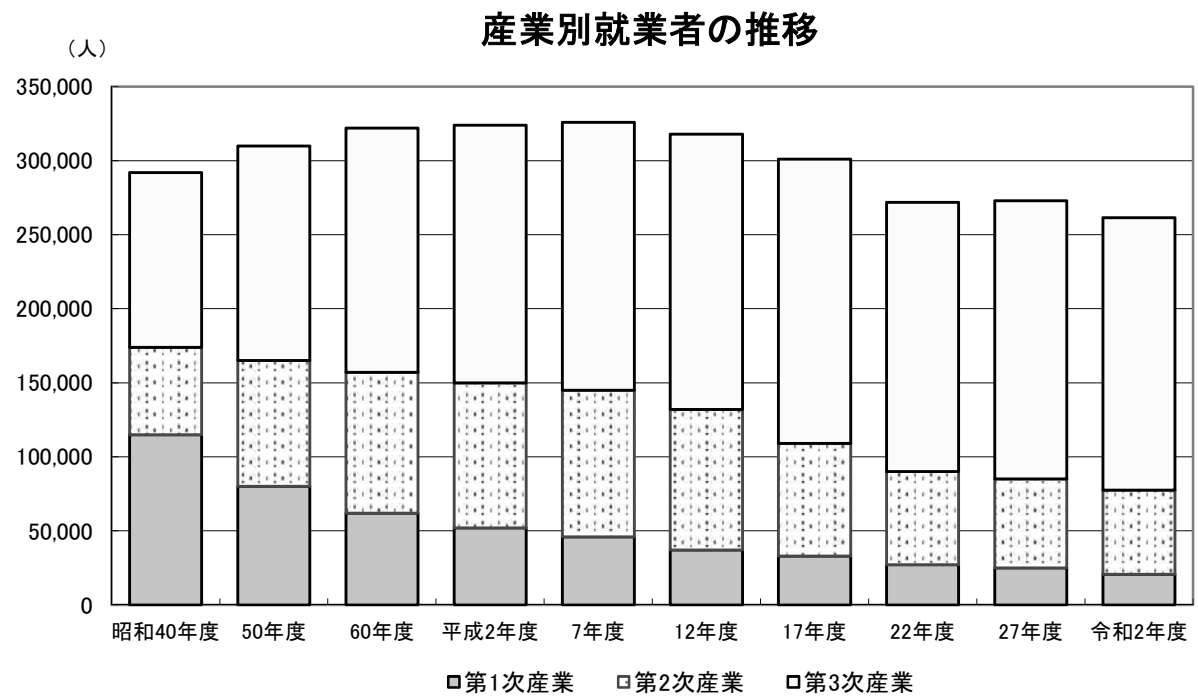
6 森林組合

・令和3年度の森林組合数は8組合、組合員数（正・准とも）は18,550人である。



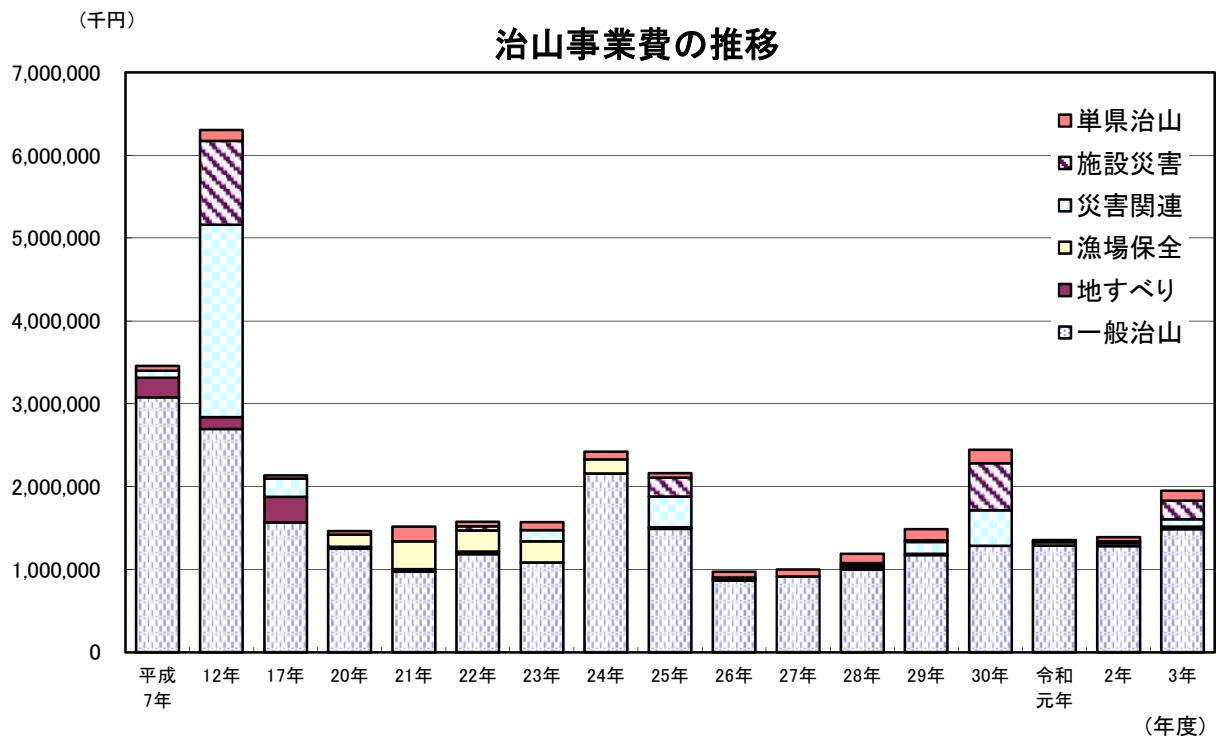
7 林業労働

・令和2年度現在で産業別の就業者数は、第1次産業21千人、第2次産業57千人、第3次産業184千人。そのうち、林業・狩猟業が占める割合は、全体の0.3%。（国勢調査数値による）



8 治山

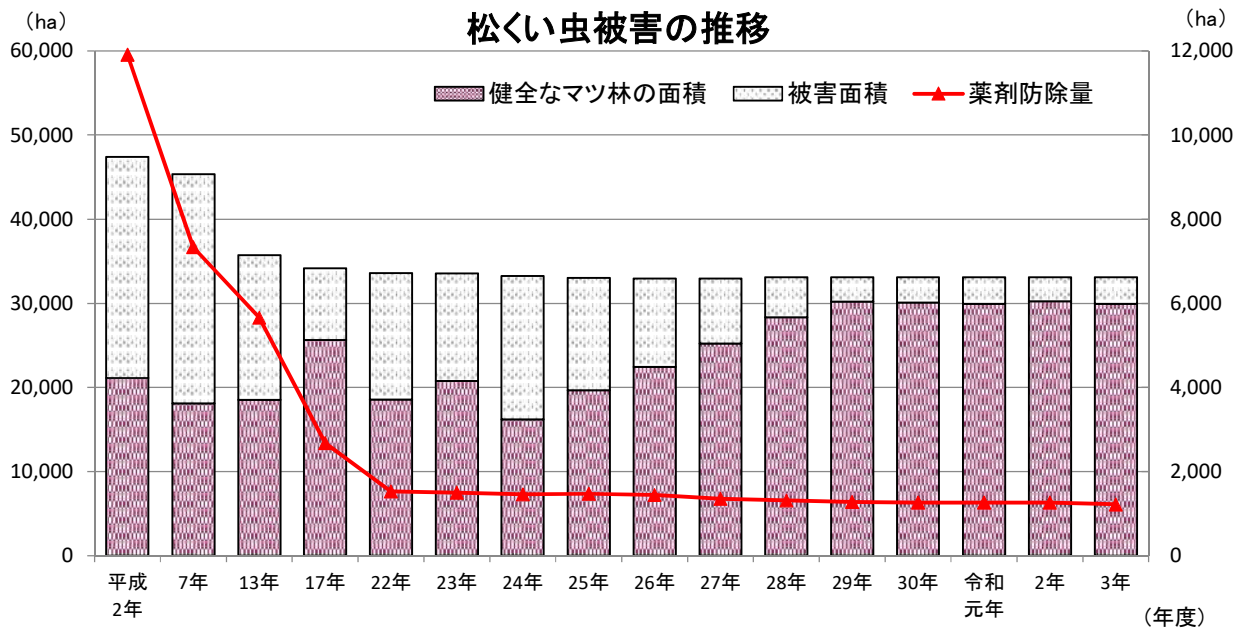
・令和3年度の治山事業費は、災害関連、経済対策の補正などあり1,952,255千円であった。



詳細はP90～91

9 森林病虫害

・令和3年度のマツ林面積は、33,107haで、そのうち3,166haが松くい虫の被害を受けている。マツ林の被害の拡大を防止するため、伐倒駆除や薬剤散布を実施している。



詳細はP98～99